

国交職組ニュース

2010. 12. 27 No. 159

発行 国土交通省職員組合
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
Tel 03-5501-3377 Fax 03-5501-3388
マイクロ 80-59663
<http://www5a.biglobe.ne.jp/~shokuso/>

「政権交代」という「無血革命」

激動の2010年を振り返って

2010年も残りあとわずかとなりました。激動の1年間、国交職組ニュースをご愛読いただきました組合員および関係各位に心から感謝申し上げます。

数多の誤字脱字、ピンぼけの写真、意味不明の記事に、適切かつ暖かい指摘をいただきました読者の皆様に支えられて、なんとか年末を迎えております。

本号は、国交職組ニュース掲載の記事を中心に、定期大会以降半年を振り返ってみた年末特集号です。ゆったりとした気持ちで、笑いながら見て読んでいただければと思います。皆様、心と身体の健康に留意いただき、良い年をお迎え下さい。

政権交代後初の大臣会見 12.15



懸案だった大臣会見を12月15日に行い、組合員の声をやっと「国交省のど真ん中」に届けることができました。

馬淵大臣は、地域主権改革と出先機関の抜本の見直しについて「組織論から入るべきではない。」と出先機関廃止ありきの検討に異議を唱えました。

また、現場の実情を説明すると「管理業務の実態には心を痛めている。」と関係予算確保に全力を尽くすことを明言しました。よろしく申し上げます。

メンタル診断共済と連携H.24から 11.19



メンタルヘルス対策としての健康調査の実施について、11月19日の交渉で小澤官房長は、「平成24年実施に向けて共済組合との連携含めて検討する。」と踏み込んだ発言をしました。

倉橋中執（国交職組推薦「共済組合運営審議会委員」）が、10月20日の国土交通省共済組合運営審議会で、共済組合の事業として「健康調査」の実施を求めた発言が、他の委員の賛同も得て効を奏したものです。

←小澤官房長（手前）

「組織拡大を」 国公連合定期大会 10.14



10月14日、国公連合第10回定期大会が開催されました。労働基本権回復および自律的労使関係制度が確立されることを前提に、国公連合が中央交渉の当事者として責任を果たすため、組織拡大と交渉機能強化が喫緊の課題であることを確認した大会でした。

小町国交職組書記次長は、代議員として、職場である北陸地方整備局を紹介するとともに、厳しい環境の中で国民生活の安全・安心を守るため、頑張り続けている仲間がいることを訴えました。

←発言する小町国交職組書記次長

わいわい塾2010で学びました 9.18~19

9月18日～19日、東京・晴海グランドホテルにおいて、各地本三役クラス+α（春日君・九州）で、わいわい塾2010を開催しました。

岩岬修氏（公務労協副事務局長）から「公務員制度改革の動向とわたしたちの取組み課題」について講義いただきました。「政治情勢は混沌としているが、次期通常国会における国公法改正にむけて、連合・公務労協に結集した取組が重要。国交職組も労使交渉の当事者、組織拡大に全力で頑張りたい。」と檄をいただきました。



↑岩岬さん（前列左三人目）を囲んで

月例給・一時金ともに引下げ勧告 8.10



人事院は8月10日、2年連続で、月例給を757円、0.19%引き下げるとともに、一時金も0.2月引き下げる勧告を行いました。50歳台後半層の給与を一律1.5%引き下げる「年齢差別」の措置は、大きな問題が残る内容となりました。

公務員連絡会は、「不満な内容」「問題を含む」としつつも、与野党問わず強まる「人勧深掘り論」を警戒して、勧告どおりの実施にむけて、政府・政党対策を強化しました。

ギリギリの日程で勧告どおりの給与法改正となりました。

↑菅首相に勧告書を手交する江利川人事院総裁

人事院勧告期および確定期の諸行動に対して、精力的に参加いただいた組合員・役員に感謝申し上げます。公務員連絡会に結集した取り組みが、人事院勧告の「深掘り」を許さず、ギリギリのところで決着したことを率直に受けとめたいと思います。

今回人事院のとした「年齢による一律削減」措置は、人事院自らが主導した給与構造改革の失敗が原因です。そのことの反省がないまま、帳尻を合わせる人事院の姿勢に、交渉にあたった公務員連絡会役員は、怒りを禁じ得ませんでした。

生活改善求めて奮闘した仲間達 7.27



↑うだるような猛暑の中、中央行動に参加した仲間達。前列左近畿・前納さん、右中国・佐々井さん、後列左木付書記長、右東北・峰岸さん。お疲れ様でした。右の写真は、応援に駆けつけた古賀連合会長。

公務員連絡会は7月27日、2010人勸期第2次中央行動を実施し、中央決起集会、人事院交渉及び交渉支援行動に取り組みました。

午後1時30分から日比谷野音で開かれた集会には、全国各地から4,000名の仲間が結集し、2010人勸を取り巻く情勢を確認するとともに、要求実現を求めて最後まで闘い抜く決意を固めました。

中央行動は、情勢認識を共有し、多くの仲間が結集していることを確認する場。国交職組の仲間達もそれぞれ精一杯の参加をしました。

生活改善求めて奮闘した仲間達② 7.13



公務員連絡会は、7月13日、2010人勸期第1次中央行動を実施し、中央決起集会、人事院交渉及び交渉支援行動に取り組みました。

午後1時30分から社会文化会館ホールで開かれた7.13第1次中央決起集会には全国から1,000名を超える仲間が結集し、経済の先行きが不透明であることに加えて国・地方の財政赤字の圧力の下、公務や公務員給与を取り巻く情勢がますます厳しいなか、月例給水準の維持と公務員労働者の生活を防衛する一時金支給月数の確保、非常勤職員の雇用確保と処遇改善、段階的定年延長などの要求に沿った人事院勧告・報告の実現に向けて、取組みを強化する決意を固めあいました。

←暑い日差しの下、人事院前の交渉支援行動として、街宣車の上から、国交職組参加者を代表して決意を表明する倉橋中執（中部）

第11回定期全国大会 加藤新体制発足 6.26



↑左から、倉橋、笠尾、木付、加藤、福田、井手、芝野の各役員。

6月の定期大会からこの半年間を世間的に振り返れば、こちらも激動。



参院選で民主党敗北 7.11

7月11日投開票。民主党は改選議席を下回る44議席に激減。自民党は51議席を獲得し改選第1党に。「元気な日本を復活させる」と訴えて菅民主党は戦ったが、選挙戦途中の「消費税発言」等もあり、各候補者は苦戦を強いられ敗退を余儀なくされました。

国交職組は、小林正夫氏（電力総連出身）の推薦を決定し、組合員への周知徹底につとめました。小林氏は、開票間もなく当確が出され、見事に当選しました。

衆参で多数派が異なるいわゆる「ねじれ国会」となり、臨時国会に上程された多くの法案が不成立となりました。

「国会のあり方」が改めて問われています。

「領土」と「主権」を考えました 尖閣問題 9.7



9月7日に起きた中国漁船と海上保安庁巡視船との「衝突事件」は、日中間の大きな外交問題に発展しました。

領海侵犯と公務執行妨害の現行犯に対して、「刺激しない方が得策」と船長を早々と釈放した政府に対して、「領土」と「主権」で覚醒した国民は黙っていませんでした。

命がけて海上の国境警備にあたっている海上保安庁職員の仕事に対する敬意が、政府首脳の言動から感じられなかったからではないでしょうか。

真面目に働く者が正しく報われる……これは「官」

も「民」もありません。努力が報われる国政めざして、わたしも微力ですが頑張ります。



千葉ロッテ優勝おめでとう 11.7

パ・リーグ最終戦残り3連勝しなければCS進出出来ないと言う泥沼から、奇跡の3連勝。CS、日本シリーズ両方とも素晴らしい試合になりました。

2夜連続の延長戦、疲れも溜まっていたでしょうが、それを感じさせない投球・守備・バッティングでした。

わたし（加藤）は、ジャイアンツファンなのですが、セリーグ代表の中日ドラゴンズではなく、ロッテを応援してしまいました。（中日ファン、落合監督申し訳ない！）

◇スポーツの清々しさは、観戦することしかできないわたしたちにも感動と夢を与えてくれます。政治もそうであって欲しいと願うのはわたしだけでしょうか。

編集後記 ♠ ♥ ♣ ◇ ♠ ♥ ♣ ◇ ♠ ♥ ♣ ◇ ♠ ♥ ♣ ◇ ♠ ♥ ♣ ◇

- 2010年もあとわずか。いろいろな事がありました。みなさんはどうですか。
- 国交省は、直轄事業について「一定の基準で移管候補をあげ、関係地方自治体との個別協議を踏まえて移管する。」という従来のスタンスから「広域地方行政体が整備できればブロック毎に一括して移管することが可能。」と一歩踏み込みました。今後は、この「広域地方行政体＝受け皿」の議論と検討が鍵になります。
- 近畿や九州は、地方発広域連合・広域地方行政機構が動き始めています。近畿地方整備局・九州地方整備局で働く仲間は、さまざまな心配をしながらの1年だったと思います。
- 組合員の「幸せ」の実現に少しで寄与したい。来年も頑張ります。よろしく。（J）